

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント



013 経営理念とサステナビリティ経営

024 サステナビリティに関わる各種方針・考え方

025 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題

030 SDGsへの貢献と重要課題

036 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024

036 重要課題1 森林経営による「森」と「木」の価値向上

039 重要課題2 「森」と「木」を活かしたカーボンニュートラルの実現

044 重要課題3 「森」と「木」を活かしたサーキュラーバイオエコノミーの実現

048 重要課題4 広く社会に快適でぬくもりある空間の提供

050 重要課題5 事業を営む地域の人々の暮らしの向上

053 重要課題6 働く人が生き生きできる環境づくり

059 重要課題7 「森」と「木」の新たな市場の創出

061 重要課題8 DX・イノベーションによる市場の変革

063 重要課題9 強靱な事業体制の構築

065 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績

083 ステークホルダーエンゲージメント

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 住友林業グループのサステナビリティ経営

### 経営理念とサステナビリティ経営

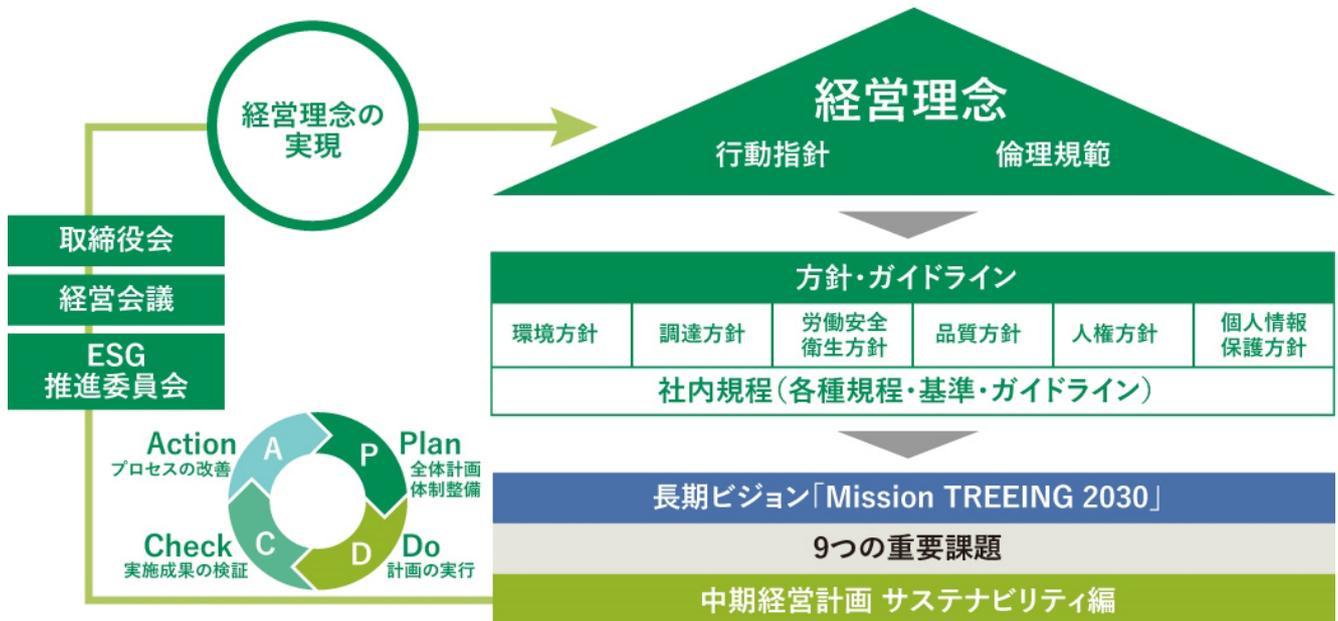
#### 住友林業グループの経営理念とサステナビリティ経営

「住友林業グループは、公正、信用を重視し社会を利するという『住友の事業精神』に基づき、人と地球環境にやさしい『木』を活かし、人々の生活に関するあらゆるサービスを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。」という経営理念を定め、サステナブルな経営を行ってきました。また、創業以来受け継がれてきた住友の事業精神に倣い、かつ国際規範や国際イニシアティブなどのグローバルな社会的要請に準拠するため、「住友林業グループ倫理規範」を定めています。グローバルスタンダードの規範として、住友林業グループをはじめ調達先や協力会社などのパートナーに加え、サプライチェーン全体を含め、浸透・運用を図っています。この「住友林業グループ倫理規範」を浸透させるために、解説などを示した「住友林業グループ倫理規範ガイドブック」を、国内グループ会社へは社員一人ひとりに配布、英語をはじめとする各言語に翻訳し、海外関係会社においても展開し、eラーニングも行っています。取引先をはじめとするステークホルダーに対しては、WEB上で同内容を公開しています。なお、年4回開催するESG推進委員会において、経営理念・行動指針・倫理規範などの運用状況と有効性をモニタリングしています。

また、経営理念及び行動指針、倫理規範に基づき、「環境方針」や「調達方針」、「労働安全衛生方針」などの方針、各種ガイドラインを制定しています。これらの具体的な実践として、中期経営計画の中でESGに関する目標をサステナビリティ編として運用しています。2022年2月、住友林業グループとしてのあるべき姿を長期的な事業構想に落とし込んだ長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を策定。特定した9つの重要課題に取り組み、地球環境、人々の暮らしや社会、市場や経済活動などに対する価値を提供することで持続可能な社会の実現を目指しています。

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
 SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
 ステークホルダーエンゲージメント

### 住友林業グループのサステナビリティ経営



トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 9つの重要課題と関連するSDGs

テーマ	9つの重要課題	関連するSDGs
地球環境への価値	1 森林経営による「森」と「木」の価値向上	13 気候変動に 適応する 15 陸の豊かさを 守る
	2 「森」と「木」を活かしたカーボンニュートラルの実現	7 再生可能エネルギー 13 気候変動に 適応する
	3 「森」と「木」を活かしたサーキュラーバイオエコノミーの実現	11 陸の豊かさを 守る 12 つくばない 消費 15 陸の豊かさを 守る
人と社会への価値	4 広く社会に快適でぬくもりある空間の提供	3 気候変動に 適応する 9 産業と雇用 の創出 11 陸の豊かさを 守る
	5 事業を営む地域の人々の暮らしの向上	3 気候変動に 適応する 8 豊かさを 増進する 11 陸の豊かさを 守る
	6 働く人が生き生きできる環境づくり	3 気候変動に 適応する 5 ジェンダー 平等 8 豊かさを 増進する
市場経済への価値	7 「森」と「木」の新たな市場の創出	9 産業と雇用 の創出 11 陸の豊かさを 守る
	8 DX・イノベーションによる市場の変革	9 産業と雇用 の創出
	9 強靱な事業体制の構築	16 平和と公正 な社会

### 経営理念

住友林業グループは、公正、信用を重視し社会を利するという「住友の事業精神」に基づき、人と地球環境にやさしい「木」を活かし、人々の生活に関するあらゆるサービスを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 行動指針

お客様の感動を生む、高品質の商品・サービスを提供します。  
 新たな視点で、次代の幸福に繋がる仕事を創造します。  
 多様性を尊重し、自由闊達な企業風土をつくります。  
 日々研鑽を積み、自ら高い目標に挑戦します。  
 正々堂々と行動し、社会に信頼される仕事をします。

## 住友林業グループ倫理規範

### 目的ならびに適用範囲

住友林業グループは、経営理念ならびに行動指針に基づき、サプライチェーンも含め、本倫理規範に則った企業運営を行います。

### 公正かつ透明性のある企業活動

#### 1. 法令・規則の遵守

国内外の法令ならびに社内規則を遵守し、国際行動規範を尊重します。

#### 2. 腐敗防止

贈収賄、横領、マネーロンダリングを含む腐敗行為には一切関与しません。

#### 3. 公正な取引

カルテルや談合などの疑いのある行為は一切関わらず、公正な取引を行います。

#### 4. 公正な会計処理

正確な記録に基づく公正な会計処理及び税務処理を行います。

#### 5. ステークホルダーとのコミュニケーション

株主をはじめとするステークホルダーの関心に配慮し、必要な情報を適時かつ公正に開示し、対話を行います。

#### 6. 機密保持

自社ならびに第三者の機密情報の保護を確実なものとしします。

#### 7. 情報セキュリティ

情報の漏えいなどを防止するため、適切な情報セキュリティの確保を行います。

#### 8. 取引先との関係

優越的な地位の乱用などの不適切な行為は行わず、取引先との建設的な関係を構築・維持します。

#### 9. 知的財産の保護

自社の知的財産を保全するとともに、他者の権利の侵害は行いません。

#### 10. 個人情報の保護

個人情報は適切に管理し、目的外の使用は行わず、漏えいを防止します。

#### 11. 責任ある広告宣伝

誤解や不快感を起こさない、正確で節度ある広告宣伝を行います。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

**12. 健全な政治との関係**

法令に基づき、健全で透明性のある政治との関係を維持します。

**13. 反社会的勢力の遮断**

反社会的勢力には、一切関与しません。

**14. 通報窓口の設置**

法令や本倫理規範の違反が疑われる場合に利用可能な通報窓口を設置します。通報は匿名の受付も可能とし、通報者に対する制裁は固く禁止するなど、積極的な利用を促します。

**良識ある行動****15. 利益相反の回避**

公私の区別を明確にし、会社との利害が対立するような行為は行いません。

**16. 会社資産の流用禁止**

個人的な目的で、会社の経費や資産を使用しません。

**17. インサイダー取引の禁止**

インサイダー取引には、他者への加担を含めて一切関与しません。

**18. 節度ある贈答、接待**

社会通念上妥当でない贈答・接待の授受は行いません。

**19. 政治・宗教活動の禁止**

就業時間内に、個人の信条に基づく、他人への勧誘などの政治・宗教活動は行いません。

**人間尊重と健全な職場の実現****20. 人権の尊重**

人権に関する国際規範に基づき、女性、子ども、先住民、マイノリティ、社会的弱者を含む、あらゆる人々の人権を尊重します。

**21. 差別の禁止と多様性の確保**

人種、民族、国籍、性別、宗教、信条、障害の有無、性的指向・ジェンダーアイデンティティなどによる差別は一切しません。また、多様性（ダイバーシティ）の確保・推進に努めます。

**22. 強制労働、児童労働の禁止**

強制労働、児童労働は、一切容認しません。

**23. 結社の自由と団体交渉権**

労働者の権利として、法令に基づき、結社の自由と団体交渉権を確保します。

**24. 適切な労働時間と賃金**

法令に基づく適切な労働時間と賃金を確保します。

**25. ワークライフバランスの確保**

育児や介護などの個人的な事情と業務との適切なバランスを確保します。

**26. 労働安全衛生**

安全で健康的な職場環境の維持に努めます。また、災害、事故等に備えた教育・訓練を定期的実施します。

**27. 人財の育成**

能力、技能の向上を目指し、研修などの機会を提供し、人財の育成に努めます。

**28. ハラスメントの禁止**

セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、非人道的な懲罰などの行為は、決して行わず、見過ごしませ

[トップ  
コミットメント](#)[サステナビリティ  
経営](#)[事業とESGへの  
取り組み](#)[環境](#)[社会](#)[ガバナンス](#)[その他](#)

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

ん。

## 29. プライバシーの保護

個人のプライバシーを尊重し、保護します。

### 社会や環境に配慮した事業活動

## 30. 顧客満足と安全

お客様の安全・安心の確保を確実にするとともに、お客様の声に真摯に対応し、品質の向上と顧客満足を追求します。

## 31. 環境共生

商品とサービスのライフサイクルにわたる環境負荷の低減を目指し、地球温暖化の防止、資源循環、汚染の防止、生物多様性の保全に取り組みます。

## 32. 地域社会への貢献

地域の文化や慣習を尊重し、対話を通じて地域社会の持続的な発展に貢献します。

2017年7月1日制定

関連情報はこちら

> [住友林業グループ倫理規範ガイドブック](#) 

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## イニシアティブへの参加・賛同

### 国連グローバル・コンパクト

住友林業は、国連が提唱するグローバル・コンパクトを支持し、2008年12月から参加しています。「国連グローバル・コンパクト」の10原則は、「世界人権宣言」、国際労働機関（ILO）の「就業の基本原則と権利に関する宣言」など、世界的に確立された合意に基づいており、人権擁護の支持・尊重、強制労働の排除、児童労働の廃止などが盛り込まれています。

「国連グローバル・コンパクト」の10原則

人権 企業は、

- 原則1：国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
- 原則2：自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

労働基準 企業は、

- 原則3：結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持し、
- 原則4：あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
- 原則5：児童労働の実効的な廃止を支持し、
- 原則6：雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

環境 企業は、

- 原則7：環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
- 原則8：環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
- 原則9：環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

腐敗防止 企業は、

- 原則10：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。



トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## WBCSD（持続可能な開発のための世界経済人会議）

The World Business Council for Sustainable Developmentの略。持続可能な開発を目指す企業約200社を超えるCEO連合体で、企業が持続可能な社会への移行に貢献するために協働しています。



住友林業は、2019年1月よりWBCSDの内部イニシアティブであるForest Solutions Group（FSG）へ参加し、2020年1月に加盟しています。

持続可能な社会を実現するために、SDGsへの貢献をはじめ、事業を通じた社会課題解決に向けた取り組みを進めています。

## TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）

Task Force on Climate-related Financial Disclosuresの略。FSB（金融安定理事會）の指示により2015年4月に設置された気候関連財務情報開示タスクフォースであり、企業が任意で行う気候関連のリスク・機会に関する情報開示のフレームワークが示されています。



住友林業グループでは、気候変動に伴うリスクを事業上の重要なリスクと認識しています。2018年7月にはTCFDへの賛同を表明。TCFDの提言に基づき、同年にシナリオ分析を開始しました。

また、企業の効果的な情報開示や、開示された気候変動対策関連情報を金融機関等の適切な投資判断に繋げるための取り組みを議論するTCFDコンソーシアムにも参加しています。

関連情報はこちら

> TCFDへの対応

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## SBT (Science Based Targets)

SBTイニシアティブは2015年に、国連グローバル・コンパクト、CDP、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の4団体が、産業革命前からの気温上昇を抑えるための科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出削減目標を推進するために設立されたイニシアティブです。

SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

住友林業グループは2017年6月、SBTイニシアティブに対し、SBTを策定することを宣言し、グループ全体での新たな温室効果ガス長期削減目標を策定しました。2018年7月には、以下の2°C目標がSBTとして認定されました。

また、グループとしての取組みを加速させるため、2030年を目標年としたスコープ1・2温室効果削減目標値を21%削減から54.6%削減に引き上げ、2021年9月にSBT事務局へ1.5°C目標の申請を行いました。

### 2°C目標 (SBT認定済)

- スコープ1・2<sup>\*1</sup>：2030年温室効果ガス排出量を2017年（基準年）比21%減とする
- スコープ3<sup>\*1</sup>：カテゴリ1及び11<sup>\*2</sup>合計の2030年温室効果ガス排出量を2017年（基準年）比16%減とする

### 1.5°C目標 (SBT申請済)

- スコープ1・2：2030年温室効果ガス排出量を2017年（基準年）比54.6%減とする
- スコープ3：カテゴリ1及び11合計の2030年温室効果ガス排出量を2017年（基準年）比16%減とする

※1 スコープ1：自社での燃料使用等による温室効果ガスの直接排出（例）社有車のガソリン使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量

スコープ2：購入した電力・熱による温室効果ガスの間接排出（CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>Oを含む）（例）オフィスの電力使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量

スコープ3：サプライチェーンの温室効果ガス排出量（例）販売した製品の使用時のCO<sub>2</sub>排出量

※2 カテゴリ1：スコープ3のうち、購入または取得した物品・サービスの採取・製造・輸送時における温室効果ガス排出量

カテゴリ11：スコープ3のうち、販売した物品・サービスの使用時における温室効果ガス排出量

関連情報はこちら

> 気候変動の緩和

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## RE100

RE100は国際的な環境NGO団体である「The Climate Group」と「CDP」が連携して運営する国際イニシアティブです。



住友林業は2020年3月、事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化を目指す「RE100」に加盟しました。2040年までに自社グループの事業活動で使用する電力と発電事業における発電燃料を100%再生可能エネルギーにすることを目指します。

関連情報はこちら

再エネ利用100%を  
> 目指し、RE100へ加盟

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## その他のイニシアチブへの参加・賛同

### 主な参加イニシアティブ・取り組み推進団体

団体名
WWFジャパン
CDPジャパンクラブ
TCFDコンソーシアム
脱炭素経営促進ネットワーク（環境省）
COOL CHOICE キャンペーン（環境省）
気候変動イニシアティブ（JCI）
経団連自然保護協議会
企業と生物多様性イニシアチブ（JBIB）
TNFDフォーラム
30 by 30 アライアンス（環境省）

### 主な署名・宣言

宣言等名称	賛同・署名時期
経団連生物多様性宣言	2009年12月および2019年12月
にじゅうまる宣言（にじゅうまるプロジェクト）	2016年5月
気候変動アクション日本サミット宣言（JCI）	2018年10月
気候変動対策強化を求めるJCIメッセージ（JCI）	2020年2月
JCI バリ協定を実現する2030年目標を求めるメッセージ（JCI）	2021年4月
Call to Action（Business for Nature）	2020年9月
企業からG20首脳へのオープンレター（We Mean Business Coalition）	2021年9月
Race to Zero（Business Ambition for 1.5°C）	2021年9月

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 住友林業グループのサステナビリティ経営

### サステナビリティに関わる各種方針・考え方

#### 住友林業グループのサステナビリティに関わる各種方針・考え方

住友林業グループは、サステナビリティ経営に関わる各課題に対して個別に方針を策定し、それらの方針に基づき取り組みを実施しています。

#### 環境関連の方針・考え方

関連情報はこちら

- > 住友林業グループ環境方針
- > 国内社有林における「生物多様性保全に関する基本方針」（抜粋）

#### 社会性関連の方針・考え方

関連情報はこちら

- > 住友林業グループ調達方針
- > グリーン調達ガイドライン（抜粋）
- > 住友林業グループ労働安全衛生方針
- > 住友林業グループ品質方針
- > 住友林業グループ人権方針
- > 住友林業グループ女性活躍推進宣言
- > 住友林業グループ健康経営宣言
- > 社会貢献活動に関する基本的な考え方

#### ガバナンス関連の方針・考え方

関連情報はこちら

- > コーポレートガバナンス基本方針 
- > 住友林業グループ倫理規範
- > 贈収賄の防止
- > 公正な競争及び適正な下請取引の推進
- > 情報セキュリティ方針
- > 知的財産管理方針
- > 責任ある広告・宣伝

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 住友林業グループのサステナビリティ経営

### 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題

#### Mission TREEING 2030

住友林業グループでは2022年2月、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、SDGsの目標年でもある2030年を見据え、住友林業グループとしてのあるべき姿を長期的な事業構想に落とし込んだ長期ビジョン「Mission TREEING 2030」および中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」（2022年～2024年）を策定しました。「Mission TREEING 2030」では、事業方針として1.森と木の価値を最大限に活かした脱炭素化とサーキュラーバイオエコノミーの確立、2.グローバル展開の進化、3.変革と新たな価値創造への挑戦、4.成長に向けた事業基盤の改革を掲げています。この長期ビジョンを達成するために、「地球環境への価値」、「人と社会への価値」、「市場経済への価値」、いずれの価値も損なうことなく、また、それぞれの価値を高めることにより、3つの価値を同時に満たすことを目指していきます。

### Mission TREEING 2030

～ 地球を、快適な住まいとして受け継いでいくために～

私たちは、地球環境、人々の暮らしや社会、市場や経済活動に価値を提供することで、将来世代を含むあらゆる人々やすべての生き物に、地球が快適な住まいとして受け継がれていくことを目指します。これまでも強みとしてきた「森」と「木」の価値を活かし、深め、新たな未来の力へと変えていきます。



地球環境への価値



人と社会への価値



市場経済への価値

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 中期経営計画サステナビリティ編

住友林業グループでは、長期ビジョン「Mission TREEING 2030」の第一段階として、将来の成長と脱炭素化への貢献に向けた基盤を作る3年の中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」（2022年～2024年）を公表しました。5つの基本方針の一つに「事業とESGの更なる一体化」を掲げ、この中にサステナビリティ戦略及び重要課題を組み入れた「中期経営計画サステナビリティ編2024」を定めています。

### (1) 木材資源の活用による脱炭素化への挑戦

- 森林のCO<sub>2</sub>吸収源としての価値を訴求した国内外での新たな事業の展開
- 国産材の競争力強化に向けた施策の推進
- 中大規模木造建築事業の拡大

### (2) 収益基盤の強靱化の推進

- 住宅・建築事業及び木材建材事業の収益力の回復、並びに将来の市場変化を見据えた変革の推進
- 資産効率の向上

### (3) グローバル展開の加速

- 米国及び豪州における住宅・不動産事業の拡大、アジアにおける収益基盤の確立

### (4) 持続的成長に向けた経営基盤の強化

- デジタル化の推進
- 人財の確保及び育成の強化、社員のエンゲージメントの向上
- リスクマネジメントの強化

### (5) 事業とESGの更なる一体化

- RE100/SBT(Science Based Targets)の達成に向けた施策の着実な実行

「中期経営計画サステナビリティ編2024」は、2019年度より運用してきた中期経営計画におけるESGに関する具体的な目標を、今回の新たな中期経営計画の方針に沿って、より事業とESG戦略の連動を高めるために見直したものです。長期ビジョン「Mission TREEING 2030」では、グループの生み出す価値を「地球環境への価値」、「人と社会への価値」、「市場経済への価値」の視点から整理、新たに9つの重要課題を特定しました。この9つの重要課題を実現するための2024年までの具体的な数値目標を事業本部ごとにより細かく設定しています。

SDGsをはじめとする社会の期待に応えるだけでなく、経済面からだけでは判断できない企業価値の向上にもつながると考えています。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 9つの重要課題と関連するSDGs

テーマ	9つの重要課題		関連するSDGs
地球環境への価値 ×	1	森林経営による「森」と「木」の価値向上	 
	2	「森」と「木」を活かしたカーボンニュートラルの実現	 
	3	「森」と「木」を活かしたサーキュラーバイオエコノミーの実現	  
人と社会への価値 ×	4	広く社会に快適でぬくもりある空間の提供	  
	5	事業を営む地域の人々の暮らしの向上	  
	6	働く人が生き生きできる環境づくり	  
市場経済への価値	7	「森」と「木」の新たな市場の創出	 
	8	DX・イノベーションによる市場の変革	
	9	強靱な事業体制の構築	

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題の特定

住友林業グループでは、2008年に続き2015年3月にCSR重要課題の特定を行いました。その後、SDGs（持続可能な開発目標）の採択、世界ではパリ協定の締結・発効と大きな変化があり、国内でも、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）によるPRI（国連責任投資原則）への署名を受け、ESG投資への流れが一挙に加速しました。これらの潮流をふまえ、住友林業グループでは、2022年2月、長期ビジョン「Mission TREEING 2030」の策定とともに、新たに9つの重要課題を特定しました。地政学的変化、デジタル化など技術革新、社員やお客様といったステークホルダーの嗜好変化などを分析するとともに、M&Aや資本業務提携などを通じ大きく成長した住友林業グループの持つ強みを生かし、住友林業グループならではの貢献領域を、サステナビリティだけではなく住友林業グループの事業全体の重要課題として、改めて整理しました。

策定にあたっては、お客様や取引先、株主・投資家、社外の有識者、社員などあらゆるステークホルダーを対象にアンケート調査を実施し、約6,000名から回答を得ました。アンケートは、外発的变化（メガトレンド）をもとに、住友林業グループに影響を及ぼすであろう項目を抽出し、「環境課題（気候変動）」「環境課題（資源と生物多様性）」「社会課題」「ガバナンス」「経済課題」の5つのカテゴリー別に35項目の課題を設定し、重要と思うものを選択してもらいました。また、若手やマネジメント層の社員へ個別ヒアリングも実施しました。

これらアンケートやヒアリング結果に基づき、住友林業グループにおける重要課題を絞りこみました。さらに、経営層による議論を重ね、経営からの視点を織り込み、リスクと機会を考慮して重要性判断を行いました。最終的には、「地球環境」「人と社会」「市場経済」の3つの視点から、9つの重要課題を特定しました。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 中期経営計画サステナビリティ編のマネジメント

中期経営計画サステナビリティ編では、SDGsへの貢献と9つの重要課題に基づいた、事業と直接結びつく2024年度をターゲットとした数値目標を定めました。

グループ内の各社・各部門では、年度ごとの数値目標「サステナビリティ予算」を策定し、目標達成に向けた取り組みを進めています。

各目標の進捗や達成状況については、ESG推進委員会で半期毎に確認し、取締役会に報告することで、PDCAサイクルを着実に回しています

重要課題1：森林経営による「森」と「木」の価値向上

重要課題4：広く社会に快適でぬくもりある空間の提供

重要課題7：「森」と「木」の新たな市場の創出

重要課題2：「森」と「木」を活かしたカーボンニュートラルの実現

重要課題5：事業を営む地域の人々の暮らしの向上

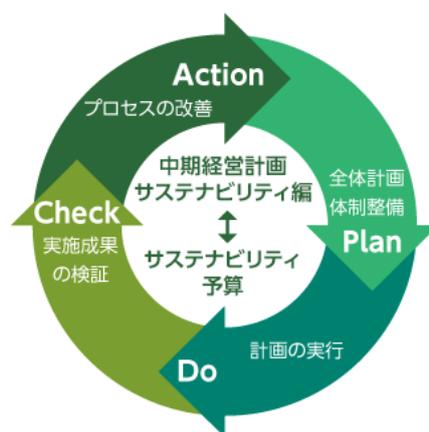
重要課題8：DX・イノベーションによる市場の変革

重要課題3：「森」と「木」を活かしたサーキュラーバイオエコノミーの実現

重要課題6：働く人が生き生きできる環境づくり

重要課題9：強靱な事業体制の構築

＞ 2022年～2024年 中期経営計画サステナビリティ編 



関連情報はこちら

＞ SDGsへの貢献と重要課題

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 住友林業グループのサステナビリティ経営

### SDGsへの貢献と重要課題

#### 基本的な考え方

2015年に国連総会において採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」は、貧困や不平等、教育、環境などに関連して、2030年までにあらゆる国と地域が達成するべき17の目標です。地球上の様々な課題解決を図り、誰一人取り残さないより良い国際社会の実現を理念として掲げています。SDGsで示される社会課題の解決に向けて取り組むことは、住友林業グループの新たな事業機会の創出や事業成長へつながります。一方で、取り組みが十分に行われない場合、法規制対応への遅れやレピュテーションの低下などのリスクへつながる可能性があります。

#### 中期経営計画サステナビリティ編2024とSDGs

住友林業グループでは2022年2月、SDGsの目標年でもある2030年を見据え、脱炭素社会の実現に向けて、住友林業グループとしてのあるべき姿を事業構想に落とし込んだ長期ビジョン「Mission TREEING 2030」及び中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」（2022年～2024年）を新たに策定しました。5つの基本方針の一つには「事業とESGの更なる一体化」を掲げており、これに基づきサステナビリティ戦略及び重要課題を組み入れた「中期経営計画サステナビリティ編2024」を定めています。「中期経営計画サステナビリティ編2024」では、住友林業グループが定めた9つの重要課題へ取り組む2024年度までの具体的な数値目標を、SDGsの視点を織り込み事業本部ごとに、より細かく設定しています。これら指標の達成を目指すことで、持続可能で豊かな社会の実現に貢献していきます。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題とSDGs（目標及びターゲット）

住友林業グループでは、特定した重要課題とSDGsへの取り組みを一体化するために、SDGs（目標及びターゲット）との関係性を以下のように整理しています。活動においては、中期経営計画サステナビリティ編に基づき、2024年度をターゲットとした評価指標（数値目標）を用い、各事業本部がPDCAサイクルをまわし継続的に推進することとし、SDGs達成へ向けた体制を整えています。

9つの重要課題	重要課題 詳細	関連するSDGs (目標及びターゲット)		
①森林経営による「森」と「木」の価値向上	「森」を育てることで、「木」をはじめとする森林資源の価値を高め、引き出す	 13.1	 15.1 15.2 15.3 15.4	
②「森」と「木」を活かしたカーボンニュートラルの実現	自らの二酸化炭素の排出を削減するとともに、炭素を吸収・固定した「木」を届けること、また低炭素・脱炭素商品・サービスを提供することによって、社会の脱炭素化に貢献する	 7.2	 13.1 13.2	
③「森」と「木」を活かしたサーキュラーバイオエコノミーの実現	自然のエコシステムで再生可能な「木」という「森林」由来の素材の強みを活かしながら、あらゆる資源が循環する社会を実現する	 7.2 11.6	 12.2 12.5	 15.1 15.2 15.4
④広く社会に快適でぬくもりある空間の提供	広く社会に対して、安心・安全で、快適さとぬくもりのある空間を提供する	 3.9	 9.4	 11.6
⑤事業を営む地域の人々の暮らしの向上	事業によって雇用を生み出すとともに、コミュニティの発展に貢献する	 3.9	 8.3	 11.3
⑥働く人が生き活きできる環境づくり	サプライチェーンに関わるすべての人が、安全で健康に、そして生き活きと働ける場にする	 3.9	 5.5	 8.5 8.8
⑦「森」と「木」の新たな市場の創出	「森」と「木」の活用の深化と拡大によって、新たな市場を創出し、経済を豊かにする	 9.4	 11.3	

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

9つの重要課題	重要課題 詳細	関連するSDGs (目標及びターゲット)		
⑧DX・イノベーションによる市場の変革	DX・イノベーションをはじめとする市場の変革を通じて、経済の効率性と付加価値を高める			
		9.4		
⑨強靱な事業体制の構築	不測の事態にも強い体制を築き、価値を提供し続けることで、経済の安定に寄与する			
		16.5		
		16.7		

## SDGsの浸透

住友林業グループでは、事業を通じてSDGsに貢献するうえで、浸透・理解が肝要であると考えています。社員をはじめとするあらゆるステークホルダーの意識向上へ向けた様々な取り組みを行っています（以下は一例）。

### SDGs浸透のためのワークショップ、研修、認知度調査を実施

住友林業グループでは、外部講師を招き、SDGsと事業との結びつきを学ぶワークショップや研修を社員へ向けて実施しています。

ワークショップの一例としては、「経済」「社会」「環境」の世界状況を表すバロメーターを意識しながら「富を得ること」「悠々自適な暮らし」「環境保護」など、2030年までの人生のゴール目標の達成を目指すカードゲームを行います。そこで得た結果から「誰一人取り残さない」世界を実現するためにレゴブロックを用いて住友林業として何ができるのかをグループに分かれて話し合います。



レゴブロックを用いたワークショップ

2020年度は国内グループ社員に対し住友林業グループのSDGsへの取り組みの認知度調査を行い、SDGsの認知度は87%という結果となりました。また、2021年1月より、社内報において、事業とSDGsとのつながりを学べる「SDGs研究室」の連載を開始しています。

住友林業グループでは、ワークショップの展開をはじめとして、社内外へ向けてSDGsの理解と目標達成に向けた活動のさらなる浸透を図っていきます。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## NIKKEI脱炭素プロジェクトに協賛

住友林業では、2050年のカーボンゼロ達成を宣言した政府のロードマップの実現性を高め、議論を行うために日本経済新聞社が立ち上げた「NIKKEI脱炭素プロジェクト」に2021年度より協賛しています。

## 「新居浜市SDGs推進企業」に登録

SDGsのターゲット達成に向けて意欲的に取り組む企業を支援する「新居浜市SDGs推進企業登録制度」に2021年2月、総務部新居浜事業所が選出されました。

住友林業の事業発祥の地である新居浜市において、障がい者雇用の促進、持続可能性や生物多様性に配慮した木材・資材の調達、社有林管理を通じた森林の公益的価値の創造等のSDGs目標達成に資する活動をこれからも推進していきます。

## 「新居浜市ESD（持続可能な開発のための教育）主任研修会」を開催

2021年11月、新居浜市教育委員会からの依頼を受け、市内各小・中学校のESD主任教師（26名）に対する研修会を、住友林業の森林情報発信施設であるフォレスターハウスにて開催しました。

研修会では、住友林業グループの事業紹介及び森のエコシステムの説明などの座学と周辺散策や実験林（固定標準木）の見学といったフィールドワークを実施し、住友林業の歴史や取り組み、理念などを学んでもらいました。

今後は、学校への出前授業の開催など、新居浜市のSDGs達成へ向けた取り組みに協力していきます。



トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 「かながわSDGsパートナー」への登録

神奈川県が、県と連携した取り組みを促進させることを目的とし、県内のSDGsに取り組んでいる企業団体等を登録する、「かながわSDGsパートナー」に2020年4月より住友林業として登録しています。温室効果ガスの削減のためZEHを広く普及させることで気候変動問題への貢献、経済の活性化、環境意識の浸透を目指しています。また、関係拠点に在籍する社員の意識向上を目指し、神奈川エリアにおけるZEHの普及状況を四半期毎に社内にアナウンスしています。これら活動等を受け、受注時のZEH比率は2020年の46.6%から、2021年には67.7%と上昇しました。



**KANAGAWA SDGs PARTNER**  
神奈川県・SDGs未来都市 住友林業15番取り組み事例



かながわSDGsパートナーロゴ

## 「静岡市SDGs宣言」へ賛同

住宅・建築事業本部静岡支店では2019年11月より、静岡市内の事業所や団体等によるSDGs活動を促進し、優良事例の発掘と横展開を図る「静岡市SDGs宣言」に賛同し、取り組み目標としてZEH普及を80%以上にすることなどを掲げました。

また、2022年2月に静岡県立浜松北高校よりSDGsに関するオンライン取材をうけ、国際科1年生10名へこれら取り組みについて説明しました。

関連情報はこちら

> ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の推進

## 小中学生向け学習Webサイト「EduTown SDGs」への事例掲載

東京書籍によるSDGsに関する教育サイト「EduTown SDGs-わたしたちが創る未来-」では、小学生から中学生へ向け、SDGsの各目標を通してグローバルな視点で地球の未来を考え、自分たちにできることを考える教材を提供しています。同サイトにおいて、2020年度より住友林業の取り組んでいる“木を育て、使うことで、森林の循環をつくる”活動がSDGsの目標15の事例として掲載されています。

関連情報はこちら

> EduTown SDGs-わたしたちが創る未来

> 住友林業15番取り組み事例

トップ  
コミットメント**サステナビリティ  
経営**事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

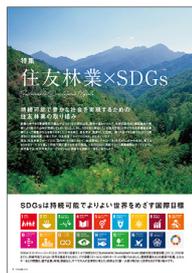
ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 「住友林業の家」のオーナーへ向けたSDGsの啓発

2021年4月発刊の「住友林業の家」のオーナー向け情報誌の冒頭特集で、「住友林業×SDGs」と題し、持続可能で豊かな社会を実現するための住友林業での取り組みをご紹介します。その結果、オーナーの皆様よりSDGsの概念を知ることができ、木の価値や可能性についても興味をもつことができたなどの感想をいただきました。



すてきな家族99号

また、オーナーサイトクラブフォレストにて「我が家、家族でできるSDGsの取り組み」を募集し、サイト内で発表しました。

オーナーの皆様の取り組みを共有することができ、日常生活におけるSDGsを身近に感じていただけました。



オーナーサイトクラブフォレストでSDGsを紹介

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

# 住友林業グループ中期経営計画 サステナビリティ編2024

## 重要課題1 森林経営による「森」と「木」の価値向上

### 重要課題1

#### 重要課題1 森林経営による「森」と「木」の価値向上

「森」を育てることで、「木」をはじめとする森林資源の価値を高め、引き出す

### 関連するSDGs



### 基本的な考え方

気候変動や資源の枯渇、生物多様性の損失など、地球環境問題が深刻化する中、それらを解決するため木材や自然資源、生物資源を生み出す森林への期待が高まっています。また森林は、CO<sub>2</sub>の吸収・固定や、生物多様性保全、木質建材や燃料材などを生産する機能だけでなく、水源涵養、土壌保全、土砂災害防止など、様々な公益的機能を有しています。

住友林業グループは、木を軸に森林事業から木材建材流通・製造事業、住宅・建築事業、再生可能エネルギー事業など、様々な事業を展開してきました。『住友林業グループは、公正、信用を重視し社会を利するという「住友の事業精神」に基づき、人と地球環境にやさしい「木」を活かし、人々の生活に関するあらゆるサービスを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。』という経営理念の実現に向けて、事業とESGの更なる一体化を推進し、持続可能な森林経営や木材の利用を行うことで、森林資源の価値を高めていきたいと考えています。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 社会・環境へのインパクト

重要課題1	インパクト（影響）
<b>森林経営による「森」と「木」の価値向上</b>  「森」を育てることで、「木」をはじめとする森林資源の価値を高め、引き出す	CO <sub>2</sub> 固定による温暖化対策への貢献
	希少種の保護等、生物多様性保全への貢献
	森林の持続可能性の高まりによる林業及び地方活性化への貢献
	再造林用の苗木を確保し、伐採から再造林による森林資源の循環利用を促進
	国内のバイオマス発電量（再生可能エネルギー供給）の増加に貢献
	国産材の活用による林業及び地域の活性化への貢献
持続可能な木材や商品、認証材の普及、認知や付加価値向上	

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題1のマネジメント

中期経営計画サステナビリティ編2024において、重要課題1は9つの評価指標に分け、管理部署の年度活動方針や施策に落とし込みマネジメントを行っています。また、重要課題が社会・環境に及ぼすインパクトについても検証を行っています。

## 各目標のマネジメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
持続可能な森林資源の活用	国内外の森林認証面積（ha）	資源環境事業本部	221,971	242,493	242,493	242,493
	自社生産苗木の植林面積 国内山林（ha）		487	892	892	1,012
	苗木供給本数 国内山林（万本）		146	223	223	253
	燃料用チップ・ペレット等 取扱量（t）※1	資源環境事業本部 木材建材事業本部	1,863,870	1,832,890	2,073,948	2,482,964
	主要構造材における持続可能 木材使用率（%）	住宅・建築事業本部	100	100	100	100
	SGEC認証面積の維持（%） ※2	資源環境事業本部	-	100	100	100

※1 ジャパンバイオエナジー、オホーツクバイオエナジー、みちのくバイオエナジー、フォレストサービス、住友林業木材建材事業を対象

※2 河之北開発への賃借地及びその周辺の山林は除く

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
生物多様性保全	自生種の販売本数（本）	住宅・建築事業本部	465,000	470,000	480,000	500,000
	社有林における環境林割合の 確保（%）	資源環境事業本部	-	30以上	30以上	30以上
	生物多様性保全に関する評価 手法の確立		-	情報収集	評価基準 検討	評価手法 の確立

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

# 住友林業グループ中期経営計画 サステナビリティ編2024

## 重要課題2 「森」と「木」を活かしたカーボンニュートラルの実現

### 重要課題2

#### 重要課題2 「森」と「木」を活かしたカーボンニュートラルの実現

自らの二酸化炭素の排出を削減するとともに、炭素を吸収・固定した「木」を届けること、また低炭素・脱炭素商品・サービスを提供することによって、社会の脱炭素化に貢献する

### 関連するSDGs



### 基本的な考え方

木は成長の過程でCO<sub>2</sub>を吸収・固定し、生産におけるCO<sub>2</sub>排出が少ないことから、脱炭素社会への移行に向け、木を積極的に利用することが重要になっています。

住友林業グループは創業以来、木を軸に事業を展開しており、「森林」「木材」「建築」の分野で、今後さらに木の利活用を提案していきます。森林においては、二酸化炭素を吸収する保護林を拡大し、炭素固定を促す経済林の伐採・再植林を加速させるゾーニング森林経営を推進。カーボンオフセットで他社と社会の脱炭素化にも貢献し、持続可能なビジネスを実現します。木材においては、木材が持つ長期的な炭素固定の価値を訴求しながら、国産材の競争力を高めつつ、建築の木造化・木質化を推進していきます。建築においては、国内外でLCCM住宅やネットゼロカーボンビルを推進するなど、脱炭素設計手法の確立・スタンダード化による脱炭素建築の推進により、社会全体の脱炭素化に貢献します。

こうした、木の価値を提供する住友林業グループの社内やサプライチェーンにおいては、RE100の達成を含め、SBTに基づく温室効果ガス排出削減目標に着実に取り組んでいきます。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 社会・環境へのインパクト

重要課題2	インパクト（影響）
<p><b>「森」と「木」を活かしたカーボンニュートラルの実現</b></p> <p>自らの二酸化炭素の排出を削減するとともに、炭素を吸収・固定した「木」を届けること、また低炭素・脱炭素商品・サービスを提供することによって、社会の脱炭素化に貢献する</p>	生活の中で特にエネルギー消費量／時間が多い、「居住」に関するエネルギー量削減による、社会全体のエネルギー消費量（温室効果ガス排出量）削減
	生活者（居住者）の環境意識の向上
	SBTやRE100達成による環境負荷低減、気候変動問題解決への貢献
	持続可能な建築物提供を通じた持続可能な社会の実現
	新たな森林価値創造ビジネスの構築

## 重要課題2のマネジメント

中期経営計画サステナビリティ編2024において、重要課題2は19の評価指標に分け、管理部署の年度活動方針や施策に落とし込みマネジメントを行っています。また、重要課題が社会・環境に及ぼすインパクトについても検証を行っています。

## 各目標のマネジメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
脱炭素化推進	国内社有林のCO <sub>2</sub> 固定量 (t-CO <sub>2</sub> )	資源環境事業本部	13,476千	13,547千	13,617千	13,758千
	海外植林会社の生産林による炭素固定量(t-CO <sub>2</sub> )		10,133千	10,133千	10,133千	10,133千

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）		管理部署	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
脱炭素化推進 （スコープ 1,2）	温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> e) 2017年度比増減率（%）		全社	370,772 +0.3	354,368 ▲4.2	340,020 ▲8.0	301,290 ▲18.5
	スマリンでんき 加入率（%）	卒FIT売 電	住宅・建築事業本部	-	40.0	45.0	45.0
		新築オー ナー買電		-	-	37.0	50.0
	再エネ導入率[RE100達成に 向けた取り組み]（%）※		全社	-	3.7	7.2	35.1

※ バイオマス発電事業からの自家消費分及び国全体で2030年以降に再エネ100%が見込まれるニュージーランドに所在する事業所は除く

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
脱炭素化推進 (スコープ3)	ZEH受注比率 (%)	住宅・建築事業本部	67.4	75.0	75.0	80.0
	環境配慮型リフォーム受注率 ／カスタマーズ (%)		-	70.0	72.0	75.0
	環境配慮商品 <sup>*1</sup> 受注率 (%)		58.9	60.0	61.0	62.0
	【戸建】BELS取得率 <sup>*2</sup> (%)		-	98.5	98.5	98.5
	【分譲】環境機器(PV/FC)搭載率(グリーンスマート率) (%)		-	15.0	20.0	30.0
	環境配慮型リフォーム受注率 ／オーナーズ (%)		-	65.0	67.0	70.0
	環境配慮型リフォーム受注率 ／カスタマー+オーナー (%)		-	67.3	69.3	72.2
	【木化】基本計画からの提案 件数 (件)		-	24	26	28
	再生可能エネルギー事業における電力供給量 <sup>*3</sup> (MWh)	資源環境事業本部	-	751,110	764,701	856,022
	新たな森林価値創造ビジネス による損益・収益割合の拡大		-	数値目標 検討	数値目標 策定	数値目標 達成
環境認証Edge対象プロジェクト数 (アジア) (件)	海外住宅・不動産事業本部	-	1	1	1	
Energy Tax Credit <sup>*4</sup> 対象戸数 (米国) (戸)		-	9,061	13,703	15,574	

※1 ①地域性種苗②浸透舗装材③壁面緑化④屋上緑化⑤ピオトープ⑥再生材利用

※2 本体着工時

※3 出資比率

※4 基準を満たした住宅に対する税控除 (1棟2,000ドル)。冷暖房のエネルギー量を2006年の50%以下とするもの

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
持続可能な森林 資源の活用	きこりんプライウッド販売数 量（月）（m <sup>3</sup> ）	木材建材事業本部	-	32,000	35,000	35,000

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

# 住友林業グループ中期経営計画 サステナビリティ編2024

## 重要課題3 「森」と「木」を活かしたサーキュラーバイオエコノミーの 実現

### 重要課題3

#### 重要課題3 「森」と「木」を活かしたサーキュラーバイオエコノミーの実現

自然のエコシステムで再生可能な「木」という「森林」由来の素材の強みを活かしながら、あらゆる資源が循環する社会を実現する

### 関連するSDGs



### 基本的な考え方

資源の枯渇、生物多様性の損失、有害物質や海洋プラスチックなどによる環境汚染への懸念を背景に、徹底した資源循環と資源の有効利用を行うサーキュラーエコノミー構築の必要性が叫ばれています。サーキュラーエコノミーは、廃棄や汚染など環境負荷を抑える製品・サービスの設計を行い、その原材料や製品を高度に循環させ続けることを目指す経済モデルです。

住友林業グループは、再生可能で持続可能な自然資源である木を、「森林」「木材」「建築」、さらにバイオマス発電などエネルギーの分野でカスケード利用するウッドサイクルを回し、木材資源の価値を向上させることで、国内においては、木を中心としたサーキュラーバイオエコノミーを実現していきます。木以外の資源に関しても、廃棄物の発生抑制・再利用・リサイクルに努めていきます。また、資源の持続可能な利用のため、サプライチェーンの持続可能性も継続的に調査していきます。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 社会・環境へのインパクト

重要課題3	インパクト（影響）
<p>「森」と「木」を活かしたサーキュラーバイオエコノミーの実現</p> <p>自然のエコシステムで再生可能な「木」という「森林」由来の素材の強みを活かしながら、あらゆる資源が循環する社会を実現する</p>	リサイクルやゼロエミッションの促進による資源保護などの環境負荷低減
	水問題の解決
	サプライチェーンの環境意識の改善

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題3のマネジメント

中期経営計画サステナビリティ編2024において、重要課題3は18の評価指標に分け、管理部署の年度活動方針や施策に落とし込みマネジメントを行っています。また、重要課題が社会・環境に及ぼすインパクトについても検証を行っています。

## 各目標のマネジメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
資源循環 (産廃)	産業廃棄物最終処分量 (t) 2021年度比削減率 (%) ※1	サステナビリティ推進部	21,050	20,489 ▲2.7	20,181 ▲4.1	19,905 ▲5.4
	新築現場におけるリサイクル率※2 (%)	住宅・建築事業本部	95.1	96.0	97.0	98.0
	住宅解体現場におけるリサイクル率※3 (%)		94.6	100	100	100
	リフォーム現場におけるリサイクル率※4 (%)		79.7	84.5	85.0	85.5
	発電事業におけるリサイクル率 (%)	資源環境事業本部	99.3	98.0	98.0	98.0
	海外製造工場におけるリサイクル率 (%)	木材建材事業本部	98.5	99.0	99.0	99.0
	国内製造工場におけるリサイクル率 (%)		99.1	99.0	99.0	99.0
	その他リサイクル率 (%)	木材建材事業本部 生活サービス本部 筑波研究所	80.6	84.0	85.0	86.0
	持続可能な木材使用比率 (製造全体) (%)	木材建材事業本部	99.0	100	100	100
	全支店産業廃棄物総排出量 (kg/棟)※5	住宅・建築事業本部	2,835	2,709	2,573	2,511
	新築系産業廃棄物排出量 (kg/m <sup>2</sup> )		-	20.8	20.1	19.8

※1 コーナン建設を除く

※2 住宅・建築事業本部、住友林業緑化、住友林業ホームエンジニアリングにおける新築現場を対象

※3 21年度実績は全ての廃棄物を対象、22年度以降の計画では、建設リサイクル法による特定建設資材（コンクリート、アスコン、木くず）を対象

※4 住友林業ホームテックのリフォーム現場を対象とし、リサイクルが困難ながれき・アスベストは除く

※5 建築事業部除く

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
資源循環（水）	水使用量（m <sup>3</sup> ）	全社	2,858,316	2,739,067	2,757,494	2,777,269

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
資源循環（サプライチェーン管理）	サプライチェーンにおけるサステナビリティ調達調査実施率（%）	住宅・建築事業本部	98.5	97.0	97.0	97.0
	入荷するPKSの認証取得率（%）	資源環境事業本部	-	-	100	100
	ESG調査の「サプライヤー（自社）」平均得点率	住宅・建築事業本部	-	前年より改善	前年より改善	前年より改善
	仕入先へのEPD取得提案数（社）比率（%）	木材建材事業本部	-	10 52	30 66	65 71
	仕入先へのサステナビリティ調査回答率（売上比）（%）		-	80	85	90

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
持続可能な森林資源の活用	未利用資源（バイオマス用途）取扱量（m <sup>3</sup> ）	資源環境事業本部	-	18,272	18,452	19,202

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

# 住友林業グループ中期経営計画 サステナビリティ編2024

## 重要課題4 広く社会に快適でぬくもりある空間の提供

### 重要課題4

#### 重要課題4 広く社会に快適でぬくもりある空間の提供

広く社会に対して、安心・安全で、快適さとぬくもりのある空間を提供する

### 関連するSDGs



### 基本的な考え方

差別や貧困などの人権問題、災害の激甚化、新型コロナウイルスの感染拡大など様々な社会課題が顕在化する中、ウェルビーイング（幸福）への志向が高まり、住まいを中心に人の生活空間には、安心、安全、快適性やぬくもりが求められています。

住友林業グループは、行動指針に「お客様の感動を生む、高品質の商品・サービスを提供します」を掲げ、新築戸建やリフォームを中心とした多くのお客様それぞれに対して、安心、安全、快適性やぬくもりを感じられる品質の高い商品を提供することに注力することで、お客様満足度の向上に努めていきます。

### 社会・環境へのインパクト

重要課題4	インパクト（影響）
広く社会に快適でぬくもりある空間の提供	クレーム削減によるお客様満足度の向上
広く社会に対して、安心・安全で、快適さとぬくもりのある空間を提供する	品質向上による社会的信頼性の確保

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題4のマネジメント

中期経営計画サステナビリティ編2024において、重要課題4は5つの評価指標に分け、管理部署の年度活動方針や施策に落とし込みマネジメントを行っています。また、重要課題が社会・環境に及ぼすインパクトについても検証を行っています。

## 各目標のマネジメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
お客様満足	設計性能評価実施率（％）	住宅・建築事業本部	-	99.0	99.0	99.0
	建設性能評価実施率（％）		-	99.0	99.0	99.0
	長期優良住宅認定取得率 <sup>※1</sup> （％）		-	95.0	95.0	95.0
	入居時アンケート（単体NPS 値 <sup>※2</sup> ）（％）		-	51.0	52.0	53.0
	工事担当のお客様アンケート の点数向上 <sup>※3</sup> （点）		-	75	78	80

※1 専用住宅かつ該当床面積以上に制限

※2 NPS（ネットプロモータースコア）。顧客ロイヤルティ（企業やブランドに対する「信頼」や「価値」の度合い）を測る新しい指標

※3 住友林業ホームテックのみの評価指標

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

# 住友林業グループ中期経営計画 サステナビリティ編2024

## 重要課題5 事業を営む地域の人々の暮らしの向上

### 重要課題5

#### 重要課題5 事業を営む地域の人々の暮らしの向上

事業によって雇用を生み出すとともに、コミュニティの発展に貢献する

### 関連するSDGs



### 基本的な考え方

森林事業を営む地域は、国内外とも、大都市圏から離れており、それぞれの国の中でも経済的、文化的な格差が見られることが多いという現実があります。特に、発展途上国においては、道路、病院、学校や市場などのインフラすら整っていないこともあります。また、日本国内においては、都市部においても、超高齢化が進展し、世帯規模の縮小や空地・空家の増加に起因する街全体の不活性化とともに、高齢者の生活の質の低下が懸念されます。

住友林業グループは、特に発展途上国における森林事業では、地域の人材採用を進め雇用を増大させるほか、それぞれの地域で求められる社会インフラの整備にも積極的に貢献していきます。日本国内においては、まず、都市部において、社会的弱者でもある高齢者に対して、木のぬくもりを感じられる高品質な老人ホームや介護施設の提供を拡大します。地方においては、地域のステークホルダーの皆さまとの対話を重視しながら地方創生に寄与する事業を展開していきます。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 社会・環境へのインパクト

重要課題5	インパクト（影響）
事業を営む地域の人々の暮らしの向上  事業によって雇用を生み出すとともに、コミュニティの発展に貢献する	地方創生による経済格差の是正
	地域住民との対話による地域コミュニティの課題に対する共通認識の育成
	介護施設の提供による福祉の充実

## 重要課題5のマネジメント

中期経営計画サステナビリティ編2024において、重要課題5は6つの評価指標に分け、管理部署の年度活動方針や施策に落とし込みマネジメントを行っています。また、重要課題が社会・環境に及ぼすインパクトについても検証を行っています。

## 各目標のマネジメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
少子高齢化への対応	有料老人ホーム居室数（室）	生活サービス本部	1,764	1,764	1,842	1,842

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
地域社会とのコミュニケーション	SGEC認証維持に関連するステークホルダーとの対話（回）	資源環境事業本部	-	1以上	1以上	1以上
	新規発電所計画時における地域住民への説明・コミュニケーション（回）		-	1以上	1以上	1以上
	OBT社における前年比増加人数（名） [増産に向けた地域人材の採用*]		-	+12	+17	+28
	TPF社における枝打ち・除草面積（ha） [火災リスクの低減と景観の改善を実現（枝打ち・除草面積）]		-	15	30	30

※ 2021年度末時点での現地従業員数は298名

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
人権	グリーバンスメカニズム*に関する取り組み	サステナビリティ推進部	-	仕組み構築	範囲拡大	継続運用

※ ステークホルダーの人権に関する苦情処理窓口

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

# 住友林業グループ中期経営計画 サステナビリティ編2024

## 重要課題6 働く人が生き生きできる環境づくり

### 重要課題6

#### 重要課題6 働く人が生き生きできる環境づくり

サプライチェーンに関わるすべての人が、安全で健康に、そして生き生きと働ける場にする

### 関連するSDGs



### 基本的な考え方

事業を持続的に成長させていくためには、関わる人々が生き生きできる環境づくりが重要です。サプライチェーンにおける全ての人が、人種・宗教・民族・国籍・ジェンダーなどの多様性を受け入れ、差別なく人権を尊重することが、公正な職場環境の礎となります。また、個人個人のライフスタイルを重視したワーク・ライフ・バランスも尊重しなければなりません。さらに森林事業や住宅建築事業では重大な労働災害が発生する可能性があり、十分な対策が必須です。

住友林業グループは、行動指針の一つとして「多様性を尊重し、自由闊達な企業風土をつくります」を掲げ、また、健康に生き生きと働けるよう、すべての従業員とその家族の心と体の健康保持、増進に努める健康経営宣言もしています。今後は、社員満足度の継続的な向上を最重視したうえで、多様性の実現やハラスメントの防止、労働災害撲滅、社員の定着率や資格取得数の向上など多面的かつ具体的な目標に取り組んでいきます。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 社会・環境へのインパクト

重要課題6	インパクト（影響）
<p><b>働く人が生き生きできる環境づくり</b></p> <p>サプライチェーンに関わるすべての人が、安全で健康に、そして生き生きと働ける場にする</p>	男女格差の是正
	よりよい人財の確保
	労働生産性の改善に伴う企業価値の向上
	多様性のある社会の実現
	安全安心な労働環境に伴う、従業員の健康確保（満足度の向上）
	労災撲滅による社員及び下請け業者の安全確保

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題6のマネジメント

中期経営計画サステナビリティ編2024において、重要課題6は18の評価指標に分け、管理部署の年度活動方針や施策に落とし込みマネジメントを行っています。また、重要課題が社会・環境に及ぼすインパクトについても検証を行っています。

## 各目標のマネジメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標 (数値目標)		管理部署	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
ワーク・ライフ・バランス (働き方改革)	社員満足度 (%)	単体	人事部	78.2	80.0	81.0	82.0
		国内関係会社		60.7	67.0	68.9	71.0
	社員有給休暇取得率 (%)	単体		64.1	70.0	70.0	70.0
		国内関係会社		59.6	61.6	62.6	63.8
	2017年度比残業時間削減率 (%)	単体 (2017年度：45.5H)		▲15.8	▲16.0	▲19.0	▲23.0
		国内関係会社 (2017年度：31.1H)		▲8.0	▲10.0	▲13.0	▲15.0
	新卒社員の定着率 (入社3年目) (%)	単体		83.3	83.0	84.0	85.0
		国内関係会社		74.8	75.8	78.8	84.5
	ハラスメントを許さない 風土* (%)	単体		-	76.0	78.0	80.0
		国内関係会社		-	76.2	77.7	79.0
	心理的安全性の確保* (%)	単体		-	71.0	73.0	75.0
		国内関係会社		-	64.0	65.5	67.1
	男性育児休業取得率 (%)	単体		-	80.0	90.0	100
		国内関係会社		-	33.0	39.0	43.0

※ 社員意識調査において「まったくその通り・どちらかといえばその通り」と回答した社員の割合

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）		管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
ダイバーシティ	60歳以降の雇用継続率 （定年延長・再雇用等） （%）	単体	人事部	93.3	95.0	95.0	95.0
		国内関係会社		87.7	87.5	99.1	98.2
	全社員に占める女性社員 比率（%）	単体		-	23.2	23.9	24.5
		国内関係会社		-	34.3	34.5	34.7
	女性役員比率（%）	単体		-	13.8	16.7	19.4
	女性上級管理職比率 （%）	単体		-	3.0	3.3	3.6
		国内関係会社		-	6.5	7.3	7.9
	新規採用者に占める女性 比率（%）	単体		-	32.6	35.0	35.0
		国内関係会社		-	34.6	35.5	35.6
	障がい者雇用率（%）	単体		-	2.20	2.25	2.30
		グループ認定		-	2.40	2.45	2.50
		国内関係会社		-	2.30	2.40	2.40

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）		管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
人財育成	社員一人当たり研修費用 （千円）	単体	人事部	77	125	125	150
		国内関係会社		29	57	57	56
	社員一人当たり研修時間 （時間）	単体		13	16.0	18.0	18.0
		国内関係会社		-	12.5	12.8	13.1
eco検定取得率 （林業単体）（%）		サステナ ビリティ 推進部	34.4*	50.0	60.0	70.0	

※ 2022年4月1日時点の数値

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）		管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
労働安全 衛生	①重大労災発生件数 （休業4日以上）（件）	国内新築現場 （請負）	住宅・建築事業本部	24	0	0	0
		リフォーム現場 （請負）		4	0	0	0
		海外住宅現場 （請負）		9	0	0	0
		国内グループ会社：製造（従業員）	木材建材事業本部	0	0	0	0
		海外グループ会社：製造（従業員・委託）※		8	0	0	0
		国内山林現場 （請負）	資源環境事業本部	2	0	0	0
		海外植林現場 （請負）		15	0	0	0
	介護現場	生活サービス本部	9	0	0	0	
	②労働災害件数 （休業1日以上4日未満）（件）	国内新築現場 （請負）	住宅・建築事業本部	13	18	16	14
		リフォーム現場 （請負）		3	0	0	0
		海外住宅現場 （請負）	海外住宅・不動産事業本部	4	0	0	0
		国内グループ会社：製造（従業員）	木材建材事業本部	0	0	0	0

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）		管理部署	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
③総労働災害件数 （休業1日以上： ①+②）（件）	海外グループ会社：製造（従業員・委託）※	海外グループ会社：製造（従業員・委託）※		12	0	0	0
		国内山林現場（請負）	資源環境 事業本部	0	0	0	0
		海外植林現場（請負）		17	0	0	0
		介護現場	生活サービス本部	1	0	0	0
	国内新築現場（請負）	国内新築現場（請負）	住宅・建築事業本部	37	18	16	14
		リフォーム現場（請負）		7	0	0	0
		海外住宅現場（請負）	海外住宅・不動産事業本部	13	0	0	0
		国内グループ会社：製造（従業員）	木材建材事業本部	0	0	0	0
		海外グループ会社：製造（従業員・委託）※		20	0	0	0
		国内山林現場（請負）		2	0	0	0
		海外植林現場（請負）	資源環境事業本部	32	0	0	0
	介護現場	生活サービス本部	10	0	0	0	

※ ネルソン・バイン・インダストリーズ（NPIL）、クタイ・ティンバー・インドネシア（KTI）、アスト・インドネシア（ASTI）、シナル・リンバ・パシフィック（SRP）、キャニオン・クリーク・キャビネット（CCC）、ヴィナ・エコ・ボード（VECO）の6社（連結対象会社）の合計

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

# 住友林業グループ中期経営計画 サステナビリティ編2024

## 重要課題7 「森」と「木」の新たな市場の創出

### 重要課題7

#### 重要課題7 「森」と「木」の新たな市場の創出

「森」と「木」の活用の深化と拡大によって、新たな市場を創出し、経済を豊かにする

### 関連するSDGs



### 基本的な考え方

脱炭素社会とサーキュラーエコノミーの実現、生物多様性の保全、人権の尊重など、様々な環境・社会課題を解決しながら経済を豊かにするために、森と木の活用が重視されています。木の活用を深化、拡大し、森の機能を活性化するためには、それらを活かした新たな市場の創出もカギとなります。

住友林業グループは、構造や耐火、生産、環境などの建築に関わる技術、法的規制、コストといった多くの課題に挑戦しながら、中大規模木造建築事業をグローバルに展開していきます。また、「木」や「森」を活かした様々な新技術、新商品、新市場を開発するため、自社の技術に囚われない外部との協働を重視した研究開発も推進していきます。

### 社会・環境へのインパクト

重要課題7	インパクト（影響）
<p>「森」と「木」の新たな市場の創出</p> <p>「森」と「木」の活用の深化と拡大によって、新たな市場を創出し、経済を豊かにする</p>	<p>新たな価値創出による豊かな社会の実現</p>

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題7のマネジメント

中期経営計画サステナビリティ編2024において、重要課題7は2つの評価指標に分け、管理部署の年度活動方針や施策に落とし込みマネジメントを行っています。また、重要課題が社会・環境に及ぼすインパクトについても検証を行っています。

## 各目標のマネジメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
新規市場開発	中大規模木造建築事業の展開 （米国・豪州・欧州）	海外住宅・不動産事業本部	-	検討/事業化	事業化	事業化

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
研究開発	共同研究先の契約数（件） 全テーマ中の割合（%）	筑波研究所	-	35 50	36 51	38 54

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

# 住友林業グループ中期経営計画 サステナビリティ編2024

## 重要課題8 DX・イノベーションによる市場の変革

### 重要課題8

#### 重要課題8 DX・イノベーションによる市場の変革

DX・イノベーションをはじめとする市場の変革を通じて、経済の効率性と付加価値を高める

### 関連するSDGs



### 基本的な考え方

伝統や経験が重視されてきた林業や木造建築の分野においては、担い手の減少や高齢化、技術の高度化やグローバル化、今後の需要拡大などの状況を見据えた場合、DXやイノベーションをはじめとする市場の変革により経済の効率性を高め、その付加価値を向上させていかなければなりません。

住友林業グループは、DX・イノベーションを通じて営業活動やサプライチェーンの効率化を進めることで、質・量を確保し、付加価値を高めた木質資源の提供を目指します。また、同様の課題が存在する介護事業分野でも、イノベーションを導入し、利用者の安心・安全といった付加価値と業務の効率化を図っていきます。

### 社会・環境へのインパクト

重要課題8	インパクト（影響）
DX・イノベーションによる市場の変革	業務効率化による働きやすさの向上
DX・イノベーションをはじめとする市場の変革を通じて、経済の効率化と付加価値を高める	データの有効活用による生産性の向上

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題8のマネジメント

中期経営計画サステナビリティ編2024において、重要課題8は3つの評価指標に分け、管理部署の年度活動方針や施策に落とし込みマネジメントを行っています。また、重要課題が社会・環境に及ぼすインパクトについても検証を行っています。

## 各目標のマネジメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
DX関連	販売先とのデータ連携（社） 導入率（%）	木材建材事業本部 （ITソリューション 部）	-	720 60	770 64	820 68
	RPA・OCR導入率（%）		-	80	90	100
	介護事業のセンサー機器導入 済施設数	生活サービス本部	-	18	19	19

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

# 住友林業グループ中期経営計画 サステナビリティ編2024

## 重要課題9 強靱な事業体制の構築

### 重要課題9

#### 重要課題9 強靱な事業体制の構築

不測の事態にも強い体制を築き、価値を提供し続けることで、経済の安定に寄与する

### 関連するSDGs



### 基本的な考え方

自然災害の激甚化や新型コロナウイルス等未知の感染症の拡大、金融や地政学的なリスク等、経済に大きな影響を与える危機が世界的に続く中、強靱な事業体制を構築することは、企業が持続可能な事業を行ううえで、重要です。また、不測の事態の中でも事業を継続していくことは、産業・市場全体の安定性にも寄与します。

住友林業グループは、不測の事態においても安定した価値を提供するためのBCM（Business Continuity Management：事業継続マネジメント）体制の構築はもちろんのこと、平時から取締役会で監督機能の強化を図るとともに、拡大する海外関係会社のガバナンスや情報セキュリティの強化を進めています。気候変動や自然災害に対しては、TCFDの提言に基づくシナリオ分析を継続的に行い、強靱な事業の構築を図っていきます。

### 社会・環境へのインパクト

重要課題9	インパクト（影響）
強靱な事業体制の構築  不測の事態にも強い体制を築き、価値を提供し続けることで、経済の安定に寄与する	情報セキュリティ体制の強化による業務基盤の構築
	教育基盤の確立による社員意識の向上
	ガバナンス体制強化による社会からの信頼性向上

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題9のマネジメント

中期経営計画サステナビリティ編2024において、重要課題9は4つの評価指標に分け、管理部署の年度活動方針や施策に落とし込みマネジメントを行っています。また、重要課題が社会・環境に及ぼすインパクトについても検証を行っています。

## 各目標のマネジメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
ガバナンス/ コンプライアンス	業務プロセス統制（内部統制）の新規導入	海外住宅・不動産事業本部	-	本格導入（2社）	継続	継続
	海外関係会社情報セキュリティレベル強化*（%）	ITソリューション部	-	20	50	100
	取締役会の実効性の外部評価実施	総務部	-	検討	検討	完了

※ 住友林業グループ独自のセキュリティベースレベル達成率

課題・戦略に基づく具体策	評価指標（数値目標）	管理部署	2021年度実績	2022年度計画	2023年度計画	2024年度計画
気候変動	TCFDシナリオ分析の実施及び開示	サステナビリティ推進部	国内住宅事業・木建事業の2部門で実証済み	資源環境事業・海外住宅事業の2部門で新規実施	木材建材事業本部及び住宅・建築事業本部の2部門で再度実施を通じ、グループ全体の影響を検討	グループにおける対応策の、次期中計の事業部門別戦略への反映を検討

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 住友林業グループのサステナビリティ経営

### 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績

#### 重要課題1：持続可能性と生物多様性に配慮した木材・資材調達の継続

##### 関連するSDGs



住友林業が海外より直輸入する木材及び木材製品については、全調達先に対し、持続可能であるかどうか、定期的に審査・確認を行っています。2021年度はサプライヤーの見直しを進め、12月末までに持続可能な木材及び木材製品への切り替えが完了しました。ただし通期の「持続可能な木材及び木材製品の取扱比率」の算定には、切り替え前の取扱量が含まれることから、計画100%に対し97.8%の結果となりました。

また、2019年度より、国内戸建住宅部門にて新たに目標として設定した「国内住宅部門のサプライチェーンにおけるサステナビリティ調査実施率」については、資材仕入額の98%の仕入先に対し調査を実施しました。今後も持続可能なサプライチェーン構築に向け、仕入先に対するフィードバックを実施するとともに、対話を通じて改善を図ります。

#### 社会・環境へのインパクト

重要課題1に関わる目標	インパクト（影響）
1. 地球温暖化対策や生物多様性保全と両立する山林経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>固定による温暖化対策への貢献</li> <li>希少種の保護等、生物多様性保全への貢献</li> <li>山林の持続可能性の高まりによる林業及び地方活性化への貢献</li> </ul>
2. 持続可能な森林資源の活用拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>再造林用の苗木を確保し、伐採から再造林による森林資源の循環利用を促進</li> <li>国内のバイオマス発電量（再生可能エネルギー供給）の増加に貢献</li> <li>地域のレジリエンスを高める</li> <li>国産材の活用による林業及び地域の活性化への貢献</li> <li>持続可能な木材や商品、認証材の普及、認知や付加価値向上</li> </ul>
3. 持続可能なサプライチェーンの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外から調達する輸入木材製品及び国内住宅資材の持続可能性の向上（環境課題や人権課題、コミュニティとの共存・共栄へ）</li> </ul>

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 地球温暖化対策や生物多様性保全と両立する山林経営

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
森林認証面積の保持、拡大	国内外の森林認証面積 (ha)	資源環境事業本部	221,467	221,971	○	242,493

関連情報はこちら

> 持続可能な森林経営

## 持続可能な森林資源の活用拡大

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
国内外の苗木植林面積の拡大	自社生産苗木の植林面積 (ha)	資源環境事業本部	7,920	5,850	△	-
	苗木供給本数 (万本)	資源環境事業本部 木材建材事業本部	726	390	△	-

関連情報はこちら

> 国内森林資源の保全

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
燃料用チップ・ペレット等取扱量の拡大	燃料用チップ・ペレット等取扱量 (t) ※1	資源環境事業本部 木材建材事業本部	1,363,930	1,863,870	○	1,461,890

※1 ジャパンバイオエナジー、オホーツクバイオエナジー、みちのくバイオエナジー、フォレストサービス、住友林業木材建材事業を対象

関連情報はこちら

> 再生可能エネルギーのニーズ拡大

> (第三者保証マーク) について

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
持続可能な木材及び木材製品の取扱量、使用量の拡大	持続可能な木材及び木材製品の取扱比率 (%)	木材建材事業本部	100	97.8	△	-
	主要構造材における持続可能な木材使用率 (%)	住宅・建築事業本部	100	100	○	100

関連情報はこちら

- [流通事業における取り組み](#)
[製造事業における取り組み](#)
[住宅・建築事業における取り組み](#)  
[\(第三者保証マーク\) について](#)

## 持続可能なサプライチェーンの構築

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
サステナビリティ調達調査表の見直し及び調査計画の策定	国内住宅部門のサプライチェーンにおけるサステナビリティ調達調査実施率 <sup>*1</sup> (%)	住宅・建築事業本部	80	98	○	97
	輸入木材製品仕入先におけるサステナビリティ調達調査実施率 <sup>*2</sup> (%)	木材建材事業本部	100	100	○	100

※1 調査は前年度に取引のあったサプライヤーを対象とし、実施率は対象企業の前年度の仕入金額に占める割合として算出

※2 木材調達委員会における当年度の木材調達デューデリジェンス対象サプライヤー数におけるサステナビリティ調査実施サプライヤー数の占める割合

関連情報はこちら

- [流通事業における取り組み](#)
[人権尊重の取り組み](#)
[\(第三者保証マーク\) について](#)

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題2：安心・安全で環境と社会に配慮した製品・サービスの開発・販売の推進

### 関連するSDGs



新築戸建注文住宅におけるZEH受注比率は、2018年度38%に対し、2021年度67.4%と伸びましたが、計画の80.0%には及びませんでした。2021年度は、目標には届かなかったものの、同指標を社員の業績評価に織り込んだことや会議において情報共有を行うなど、社員の意識向上を図った結果、前期と比べ15.3%増える結果となりました。中期経営計画サステナビリティ編2024最終年度にあたる2024年12月期80.0%を目標に引き続きZEH普及率促進に取り組みます。

「再生可能エネルギー事業における電力供給量※」については、紋別バイオマス発電が安定稼働したことや、苅田バイオマス発電が2021年6月より稼働したことにより、計画（2021年12月期373,826世帯分の電力供給）には及びませんでした。335,310世帯分（1,046,167MWh）の電力を供給することができました。中期経営計画（2022-2024）では世帯換算値から電力供給量（MWh）に単位を見直し、2024年度856,022MWhの電力供給を目指します。

※ 持分法適用会社の電力会社については、2022年度より持分比率に準じた供給量に算定方法を変更

## 社会・環境へのインパクト

重要課題2に関わる目標	インパクト（影響）
1. 環境配慮型商品・サービスの拡大 ※ 脱炭素社会に向けた温室効果ガス排出量削減（SBT：スコープ3）を含む	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中で特にエネルギー消費量／時間が多い、「居住」に関するエネルギー量削減による、社会全体のエネルギー消費量（温室効果ガス排出量）削減</li> <li>生活者（居住者）の環境意識の向上</li> </ul>
2. 生物多様性に配慮した環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に根差した生物多様性の保全、拡大</li> <li>生物多様性の確保</li> </ul>
3. 社会課題の解決に貢献するビジネスの拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスの拡大に伴う社会課題の解決</li> </ul>
4. 持続可能で革新的な技術開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な建築物提供を通じた持続可能な社会の実現</li> <li>木造建築物の可能性を広げ、持続可能な資源である木材のさらなる活用を促す。それがひいては、持続可能な森林利用の推進につながる</li> </ul>

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 環境配慮型商品・サービスの拡大

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
住宅の創エネ、省エネ仕様の推進	新築戸建注文住宅におけるZEH受注比率 (%)	住宅・建築事業本部	80.0	67.4	△	75
	環境配慮型リフォーム受注率 (%)	住宅・建築事業本部	60	58.9	×	70
	建材事業におけるサッシ/ガラスウール/太陽光発電システム売上高 (百万円)	木材建材事業本部	24,040	22,987	△	-

関連情報はこちら

> ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) の推進

> リフォームによる性能向上

> (第三者保証マーク) について

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
木材使用における炭素固定の付加価値拡大	国内木造建築における炭素固定量 (t-CO <sub>2</sub> )	住宅・建築事業本部	199,509	192,194	△	-

関連情報はこちら

> 住宅・建築事業におけるカーボンストック

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
地域性種苗や自然の循環を活かした商材の提案	環境緑化事業における環境配慮商品 <sup>※1</sup> 受注率 (%)	住宅・建築事業本部	63.0	58.9	△	60

※1 環境配慮商品:①地域性種苗、②浸透舗装材、③壁面緑化、④屋上緑化、⑤ピオトップ、⑥再生材利用

関連情報はこちら

> 緑化による環境都市への貢献

> (第三者保証マーク) について

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 生物多様性に配慮した環境づくり

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
自生種の販売拡大	自生種の販売本数（本）	住宅・建築 事業本部	500,000	465,000	△	450,000

関連情報はこちら

> 緑化による環境都市への貢献

## 社会課題の解決に貢献するビジネスの拡大

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
新規施設開設による居 室数の増加	有料老人ホーム居室数（室）	生活サービ ス本部	2,014	1,764	×	1,764

関連情報はこちら

> 生活サービス事業におけるお客さ  
まとのコミュニケーション

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度 <sup>※3</sup>
			計画	実績	評価	計画
再生可能エネルギー事 業の拡大	再生可能エネルギー事業にお ける電力供給量（世帯数換算 値） <sup>※1</sup> <sup>※2</sup>	資源環境 事業本部	373,826	335,310	△	240,740

※1 再生可能エネルギー事業の集計対象発電所は紋別バイオマス発電、八戸バイオマス発電、川崎バイオマス発電、苫小牧バイオマス発電、荻田バイオマスエナ  
ジー、鹿島太陽光発電所

※2 再生可能エネルギー事業における年間送電量を1世帯あたり3,120kWh/年として世帯数に換算

※3 22年度計画数値は、出資比率に応じた電力供給量を世帯数に換算

関連情報はこちら

> 再エネ利用100%を目指し、  
RE100へ加盟

> （第三者保証マーク）について

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 持続可能で革新的な技術開発の推進

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
W350計画実現に向けた技術課題の解決	W350計画開発進捗状況	筑波研究所	W70の実現に向けた材料開発、基本設計の実施	基本計画における追加検討事項への対応完了	△	-

関連情報はこちら

> 未来に向けて～W350計画「環境  
木化都市」を目指して～

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題3：事業活動における環境負荷低減の推進

### 関連するSDGs



温室効果ガス排出量については、2021年度370,772t-CO<sub>2</sub>eと、計画402,768t-CO<sub>2</sub>eに対し、排出量を抑えることができました。紋別バイオマス発電所において石炭の混焼比率を低減させたことや、新型コロナウイルスの影響により、一部の海外製造工場で稼働を停止していたことが主な要因です。中期経営計画（2022-2024）では、紋別バイオマス発電所の石炭混焼比率を更に低減させることや、RE100達成にむけ、消費電力の再エネ化を進めることにより、最終年度にあたる2024年12月期301,290t-CO<sub>2</sub>e（2018年3月期比▲18.5%減）を目指します。

新築現場における産業廃棄物のリサイクル率については、95.1%と計画の98.0%には届きませんでした。きづれパネル、スレートのプレカット化を図り、産業廃棄物排出量の削減、リサイクル率の改善に取り組みましたが、目標数値には届きませんでした。中期経営計画（2022-2024）では、現場ごとの分別徹底に伴う混廃率の低減を図ることで、最終年度にあたる2024年12月期98.0%を目指します。

## 社会・環境へのインパクト

重要課題3に関わる目標	インパクト（影響）
1. 脱炭素社会に向けた温室効果ガス排出量削減（SBT：スコープ1・2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>SBTやRE100達成による環境負荷低減、気候変動問題解決への貢献</li> </ul>
2. 資源保護および廃棄物排出削減とゼロエミッションの達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクルやゼロエミッションの促進による資源保護などの環境負荷低減</li> </ul>
3. 水資源の節減・有効利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>水問題の解決</li> <li>生活者の環境意識の改善</li> </ul>

トップ  
コミットメント**サステナビリティ  
経営**事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 脱炭素社会に向けた温室効果ガス排出量削減（SBT：スコープ1・2）

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
温室効果ガス排出量の 削減	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> e）※ 2017年度比増減率	各部署	402,768	370,772 	○	354,368
			+8.9%	+0.3% 	○	▲4.2%
	炭素効率 （t-CO <sub>2</sub> e/売上高（百万円））	サステナビ リティ推進 部	0.318	0.268	○	-

関連情報はこちら

➤ 事業活動に伴う温室効果ガス排出

➤ 温室効果ガス排出量集計の範囲と  
方法について

➤ （第三者保証マーク）について

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 資源保護及び廃棄物排出削減とゼロエミッションの達成

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
産業廃棄物の分別推進	新築現場におけるリサイクル率 (%) ※1	住宅・建築事業本部	98.0	95.1	×	96.0
	住宅解体現場におけるリサイクル率 (%) ※2 (本体着工ベース)		98.0	94.6	-	100.0
	リフォーム事業※3におけるリサイクル率 (%)		84.0	79.7	△	84.5
	発電事業におけるリサイクル率 (%)	資源環境事業本部	56.5	99.3	○	98.0
	海外製造工場におけるリサイクル率 (%)	木材建材事業本部	98.0	98.5	○	99.0
	国内製造工場におけるリサイクル率 (%)	木材建材事業本部	99.5	99.1	×	99.0
		住宅・建築事業本部				
生活サービス事業など※4におけるリサイクル率 (%)	資源環境事業本部	98.0	80.6	×	84.0	
生活サービス事業など						

※1 住宅・建築事業本部、住友林業緑化、住友林業ホームエンジニアリングにおける新築現場を対象

※2 21年度計画では、建設リサイクル法による特定建設資材（コンクリート、アスコン、木くず）を対象としていたが、21年度実績は全ての廃棄物を対象として数値を算出

※3 住友林業ホームテックのリフォーム現場を対象とし、リサイクルが困難ながれき・アスベストは除く

※4 生活サービス事業、住宅関連資材販売などの排出事業所を対象

関連情報はこちら

> 資源保全及び廃棄物排出削減

> (第三者保証マーク) について

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
廃棄物の削減、 ゼロエミッションの 推進	産業廃棄物最終処分量 (t) (2017年度比増減率)	サステナビ リティ推進 部	54,087	21,050	○	36,493
			(▲15.0%)	(▲66.9%)		(▲42.6%)
	産業廃棄物総排出量 (戸建住 宅1棟あたり排出量) (kg/棟)	住宅・建築 事業本部	2,730	2,835	△	2,709

関連情報はこちら [>](#)

> ゼロエミッション達成のための取  
り組み

## 水資源の節減・有効利用

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
水資源の適正管理	水使用量 (千m <sup>3</sup> )	サステナビ リティ推進 部	3,011 以内	2,858	○	2,739 以内

関連情報はこちら [>](#)

> 水資源の有効利用

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題4：多様な人財が能力と個性を活かし、いきいきと働くことができる職場環境づくりの推進

### 関連するSDGs



2021年度においては、新型コロナウイルス感染症への対応のなか、国、自治体からの外出自粛要請もあり、住友林業の社員の平均有給休暇取得日数は、12.3日と前年度（11.6日）微増の結果となりました。関係会社においても同様の結果となっています。

時間外労働については、住友林業は2013年度比で▲33.3%と計画▲32.0%より削減することができました。関係会社においても同様に削減が進みました。引き続き、テレワークの導入や、フレックスタイム制を活用した柔軟で効率的な働きかたを進めることで、有給休暇取得日数の改善、及び時間外労働の削減を進めます。

労働災害発生件数については、発生件数0件を目標に掲げていますが、2021年度には各事業分野においてそれぞれ発生しています。特に国内新築施工現場においては、熱中症や墜転落事故が増加し、4日以上の重大労災が24件発生しました。また、海外製造工場においては、フォークリフトなどの事故などを含め、9件発生しました。

2020年4月より新設された品質・安全マネジメント室が主催したISO45001内部監査員講習会について計37名、ISO9001内部監査員講習会について計51名の受講があり、受講者全員内部監査員の資格を取得しました。今後も引き続き、住友林業グループ全体の労働災害ゼロに向け、グループ全体の労災事案の管理、ならびに各部門・関係会社への安全教育の強化や支援の水平展開など、取り組みを強化します。

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 社会・環境へのインパクト

重要課題4に関わる目標	インパクト（影響）
1. 多様な発想と働きがいで活力を生む職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進国でも最低レベルと言われる日本の男女格差の是正</li> <li>多様な発想から生まれたイノベーションによる企業と社会の持続可能性向上</li> </ul>
2. 若年層育成と高齢者活用による人財の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会全体が少子高齢化し労働人口が減少する中で、よりよい人財の確保</li> <li>労働生産性の改善に伴う企業価値の向上</li> <li>多様性のある社会の実現</li> </ul>
3. 働きかた改革による長時間労働の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会全体が少子高齢化し労働人口が減少する中で、よりよい人財の確保</li> <li>労働生産性の改善に伴う企業価値の向上</li> <li>多様性のある社会の実現</li> </ul>
4. 労働災害事故の撲滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心な労働環境に伴う、従業員の健康確保（満足度の向上）</li> </ul>

## 多様な発想と働きがいで活力を生む職場づくり

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に基づく具体策	評価指標			21年度	21年度	21年度	22年度
				計画	実績	評価	計画
女性活躍推進	女性管理職比率（%）	住友林業	人事部	5.5	5.6 <sup>*1</sup>	○	-
		国内関係会社	人事部	7.3	8.4	○	-
社員満足度の向上	社員満足度（%）	住友林業	人事部	85.0	78.2	×	80.0
	社員満足度基準年度増減率（%） <sup>*2</sup>	国内関係会社	人事部	2019年度比 110	2019年度比 104	×	67.0

※1 12月31日在籍人員により算出

※2 22年度計画は、社員満足度（%）

関連情報はこちら

> ダイバーシティ&  
インクルージョン

> 社員とのコミュニケーション

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 若年層育成と高齢者活用による人財の確保

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に基づく具体策	評価指標		管理部 署	21年度	21年度	21年度	22年度
				計画	実績	評価	計画
評価制度の見直し (2019年4月)と考課 者研修の実施による、 中長期的な視点での人 財育成	新卒3年離職率 (%)	住友林 業	人事部	15.0	16.7	△	17.0
		国内関 係会社	人事部	12.9	25.2	×	24.2

関連情報はこちら

> 人財育成

課題・戦略に基づく具体策	評価指標		管理部 署	21年度	21年度	21年度	22年度
				計画	実績	評価	計画
研修プログラムの充実 化	社員一人当たり研修費用 (千円)	住友林 業	人事部	132	77	×	125
		国内関 係会社	人事部	66	29	△	57
	研修延べ受講者数 (人)	住友林 業	人事部	13,000	12,694	△	14,600
		国内関 係会社	人事部	16,176	28,596	○	26,890
社員一人当たり研修時間 (時間)	住友林 業	人事部	15.5	13	×	16.0	

関連情報はこちら

> 人財育成

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度	
			計画	実績	評価	計画	
期初定年退職直前面談 会の実施	60歳以上の雇用率（再雇 用含む）（%）	住友林 業	人事部	87.0	93.3	○	95.0
		国内関 係会社	人事部	78.0	87.7	○	87.5

関連情報はこちら

> ダイバーシティ&  
インクルージョン

## 働きかた改革による長時間労働の削減

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度	
			計画	実績	評価	計画	
有給休暇の低取得率部 署に対する改善指導	社員平均有給休暇取得日 数（日）※	住友林 業	人事部	14.0	12.3	△	70.0%
		国内関 係会社	人事部	11.3	11.2	△	61.6%

※ 22年度計画は、社員有給休暇取得率（%）

関連情報はこちら

> ワーク・ライフ・バランス

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度	
			計画	実績	評価	計画	
フレックスタイム適用 部門及び社内模擬臨検 の対象拡大	2013年度比平均所定外 労働時間削減率（%）※	住友林 業	人事部	▲32.0	▲33.3	○	▲16.0
	2017年度比平均所定外 労働時間削減率（%）	国内関 係会社	人事部	▲11.3	▲18.8	○	▲10.0

※ 22年度計画は、2017年度比残業時間削減率（%）

関連情報はこちら

> ワーク・ライフ・バランス

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 労働災害事故の撲滅

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部 署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
相互安全監査、製造部門の安全監査の実施  事例共有とリスクアセスメントの実施	重大労災発生件数（件） （休業4日以上）	製造現場 （国内・海外従業員／委託）※1	0	8	△	0
		山林現場 （国内・海外請負）	0	17	×	0
		新築施工現場 ※2 （国内請負）	0	24	×	0
		新築施工現場 （海外請負）	0	9	×	0
	労働災害件数（件） （休業1～3日）	新築施工現場 （国内請負）	0	13	△	18

※1 海外製造現場はネルソン・パイン・インダストリーズ（NPIL）、クタイ・ティンパー・インドネシア（KTI）、アスト・インドネシア（ASTI）、シナール・リンバ・パシフィック（SRP）、キャニオン・クリーク・キャビネット（CCC）、ヴィナ・エコ・ボード（VECO）の6社（連結対象会社）の合計

※2 件数に“一人親方”を含む

関連情報はこちら

> 労働安全衛生マネジメント

> 森林事業における労働安全衛生

> 製造事業における労働安全衛生

> 建築現場における労働安全衛生

> （第三者保証マーク）について

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 重要課題5：企業倫理・ガバナンス体制の強化

### 関連するSDGs



住友林業単体で、2021年7月にレジリエンス認証を取得しました。

TCFDシナリオ分析については、これまでに住宅・建築事業、木材建材事業で実施し、2021年度は海外住宅・不動産事業、資源環境事業で実施しました。

### 社会・環境へのインパクト

重要課題5に関わる目標	インパクト（影響）
リスク管理・コンプライアンス体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>（特に株主にとっての）企業価値の向上</li> <li>非常時における早期の事業回復による商品の継続的供給、取引先への事業支援</li> </ul>

### リスク管理・コンプライアンス体制の強化

以下表組における達成度評価について

目標達成：○ 目標未達前期比改善：△ 目標未達前期比悪化：×

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
リスク管理委員会による重点管理リスク項目の進捗確認と顕在化リスク項目の共有化	重点リスク管理の進捗管理（リスク管理委員会の四半期ごとの開催）（%）	総務部	100	100	○	100

課題・戦略に基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
コンプライアンス浸透度の把握と不正・コンプライアンス違反の通報ルートの拡充	「コンプライアンス意識調査」の定期実施・段階的展開	総務部	隔年実施のため計画なし	-	-	住友林業および一部国内グループ会社

関連情報はこちら

> リスクマネジメント

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
BCM（事業継続マネジメント）に関する外部からの認定の取得	レジリエンス認証の取得	総務部	主要国内 グループ 会社	住友林業 単体	△	-

関連情報はこちら

> コンプライアンス

課題・戦略に 基づく具体策	評価指標	管理部署	21年度	21年度	21年度	22年度
			計画	実績	評価	計画
気候関連リスクが組織に影響を与える（可能性のある）財務的影響の分析、開示	TCFDシナリオ分析の実施及び開示	サステナビリティ推進部	全事業部門の分析結果の再検証完了、次期中期経営計画への織り込み	住宅・建築事業、木材建材事業の2部門で実施済。次期中期経営計画へ織り込み済	○	海外住宅・不動産事業、資源環境事業で実施完了

関連情報はこちら

> TCFDへの対応

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 住友林業グループのサステナビリティ経営

### ステークホルダーエンゲージメント

#### 基本的な考え方

住友林業グループは、再生可能な自然資源である「木」を軸として川上から川下まで幅広い領域でグローバルに事業活動を行っているため、様々なステークホルダーと関わりがあります。直接的・間接的に影響しあう関係性を考慮しながら事業活動を行うことはもとより、常にコミュニケーションを重視し、その期待や要請に誠実に応えていくことが基本的な考え方です。

#### 住友林業グループのステークホルダー



トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 主な責任とコミュニケーション方法

### お客様

近年、大規模災害の頻発や地球温暖化に伴うエネルギー問題、国内における人口減少、高齢化、都市への一極集中や過疎化、健康志向の高まりなど、お客様を取り巻く社会・環境の変化は激しく、同時にお客様のニーズも多様化しています。

このような状況を踏まえ、住友林業グループでは、安全性や品質問題に関わる取り組みを徹底しリスク低減を図るのみならず、社会・環境変化へ対応することで新たな事業機会の創出につなげ、さらなるお客様満足の上昇につなげていきます。

主な責任	コミュニケーション方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で高品質な製品・サービスの提供</li> <li>適時・適切な情報開示と説明責任</li> <li>コミュニケーション等を通じたご要望やニーズの把握と満足度の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住友林業コールセンター</li> <li>お客様満足度調査</li> <li>ホームページやメディア、情報発信誌等</li> <li>展示会や各種イベント等</li> </ul>

### 関連する実績



関連情報はこちら

> 製品・サービスの安全及び  
品質マネジメントシステム

> 住宅・建築事業における取り組み

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 社員・その家族

雇用や労働に関する社会課題をめぐっては、人権尊重や差別のない公正な職場環境の形成、現場における安全性の確保、ワーク・ライフ・バランスへの配慮や長時間労働の削減など、様々なテーマがあげられます。

これらの課題解決に取り組むことは社員に関わるリスクを取り除くとともに、人財確保や社員のモチベーション向上等のプラスの影響ももたらし、企業価値向上や事業推進の原動力につながると考えます。

主な責任	コミュニケーション方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>人権尊重や差別のない公正な職場環境の形成</li> <li>従業員とその家族の心と体の健康が保たれ、多様な背景、事情を抱える社員が、能力を活かして活躍できる職場の提供、整備</li> <li>公平・公正な人事評価</li> <li>能力を発揮・向上できる教育体制の整備</li> <li>ワーク・ライフ・バランスを充実させるための諸施策・制度等の整備上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な面談・業績レビューの実施</li> <li>社員意識調査の実施</li> <li>ストレスチェックの実施</li> <li>コンプライアンス・カウンターの設置</li> <li>制度改定時の説明会実施・問い合わせ方法の充実（AIチャットボット活用など）</li> <li>EAP（従業員支援プログラム）サービス</li> <li>社長と社員の対話（カジュアルフリーディスカッション）の実施</li> <li>家族の職場参観日</li> <li>労使双方の委員で構成する「経営懇談会」の設置</li> <li>社内報の発行、社内WEBの整備</li> </ul>

## 関連する実績



関連情報はこちら

> ダイバーシティ&  
インクルージョン

> 人材育成

> 社員とのコミュニケーション

> ワーク・ライフ・バランス

> 労働安全衛生マネジメント

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 株主・投資家

近年、長期投資を行う機関投資家による企業評価のあり方が見直されています。その中で重視されているのが、エンゲージメント（目的を持った対話）です。企業価値向上に向けた戦略や取り組みについて、企業と株主・投資家との対話機会が増えています。日本国内でも、日本版スチュワードシップ・コードの制定以降、より幅広くエンゲージメントを推進する動きが広がっています。

住友林業グループも、企業価値への適切な評価や市場からの信頼獲得という観点から、エンゲージメントを重要視しています。非財務面も含めた幅広い情報を迅速かつ透明性をもって開示することで、経営方針や事業計画への理解を得ながら、重要なステークホルダーである投資家の意見や要望を経営陣に適時フィードバックし、持続的成長への施策につなげていきます。

主な責任	コミュニケーション方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>適時・適切な情報開示</li> <li>情報の透明性や説明責任の追求</li> <li>適切な株主還元</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株主総会、決算説明会、投資家説明会、現場説明会等の実施</li> <li>ホームページや、統合報告書、株主通信、説明会資料、関連資料等の情報発信</li> <li>ESG等に関連する評価・調査機関からのアンケート対応</li> </ul>

## 関連する実績



関連情報はこちら

[株主還元とIR活動](#)

[株主・投資家の皆様へ（IR情報）](#)

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 政府・監督官庁

「木」を軸とした様々な事業活動に取り組む住友林業グループは、事業を行う国、地域の関係法令の情報を常にアップデートし、法令を遵守する必要があります。

例えば、住宅建築には建築基準法をはじめとする様々な関連法令があります。また、森林経営に関しては国土に関わる事業として、政府や監督官庁への届け出など、多くのコミュニケーションが必要です。

そのため、各種の法令遵守を徹底し、事業を展開する国の政府や監督官庁と適切にコミュニケーションを図ることで、信頼の向上に努めています。

主な責任	コミュニケーション方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種関連法令の遵守及び報告・届け出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門・関係部署を通じた対応</li> </ul>

## 業界・同業他社

住友林業グループは、自らが事業活動を行う業界全体が持続可能な成長を遂げるためには、公正で自由な競争環境が肝要であると考えています。

また、関連するルールづくりには、業界団体などによるとりまとめが不可欠です。住友林業は、業界団体等に参画し、フロントランナーとして主導的な役割を担うことで、業界の発展や振興に貢献しています。

主な責任	コミュニケーション方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な市場や競争環境の構築</li> <li>業界の発展・振興に向けた協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界団体等への参画</li> </ul>

関連情報はこちら

> 公共政策への提言

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 取引先

「木」を軸に事業を展開している住友林業グループにとって、持続可能な森林経営と持続可能な森林からの木材調達を推進することは、事業の継続と発展において非常に重要な取り組みです。また、違法伐採に関する各国法令や各種規制をはじめとするリスク要素への対応としても、これらの取り組みが必須だと考えます。

取引先と共に森林資源の保全・育成や植林、森林認証材の積極的な活用など限りある地球資源の有効な活用を推進することで、事業基盤の強化につなげていきます。

主な責任	コミュニケーション方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>公正で公平な取引関係の構築</li> <li>安全衛生環境の向上</li> <li>各種関連法令の遵守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>購買・調達活動</li> <li>安全大会・安全パトロール、工務店会議の開催</li> <li>研究会や情報交換会の開催</li> <li>サプライヤー評価（アンケートや訪問）等の実施</li> </ul>

## 関連する実績



関連情報はこちら

> サプライチェーンマネジメント

## 学生

住友林業グループでは、次世代を担う学生の皆さまへ向け、理念や現在の事業状況、働き方改革をはじめとする様々な取り組みや、中長期的な展望について情報発信を行っています。

住友林業への理解を深めていただくことはもちろん、著しい環境変化の中で、オンラインを活用し双方向かつ積極的な情報発信やコミュニケーションに努めています。

主な責任	コミュニケーション方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>公平・公正な採用活動</li> <li>積極的な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップの実施</li> <li>オンラインを活用した説明会や社員との交流イベントの実施</li> <li>採用ホームページでの情報発信</li> </ul>

関連情報はこちら

> 採用情報

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## NPO／NGO

住友林業グループは、生物多様性や地域振興などの社会課題への取り組みに際して、専門的知識や事業を行う地域の状況を理解しているNPO／NGOの皆さまと協働しています。市民社会と協働することで、住友林業だけでなく多くの人々がその役割を果たし、地域に根ざした社会課題の解決へ向けたより大きな成果が出ることを期待しています。

主な責任	コミュニケーション方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会課題解決に向けた協働</li> <li>事業ノウハウの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員のボランティア参加</li> <li>社会貢献活動を通じた協働</li> <li>ステークホルダーダイアログ</li> </ul>

関連情報はこちら

> [NGO等外部ステークホルダーとの  
エンゲージメント強化](#)

## 地球環境

住友林業グループは、自社の事業活動が直接的・間接的に影響を与える対象として地球環境に重きを置いています。1994年12月に「環境理念」を、2000年10月にはグループ統一の「環境方針」をそれぞれ策定しました。

また、2009年度には初めての中期的な環境目標である「環境経営中期計画」（2010～2014年度）、2014年度には環境目標を含む「CSR中期計画」（2015～2020年度）を策定しました。さらに、「住友林業グループ 中期経営計画2024」のサステナビリティ編として、これら計画の数値目標をさらに増やし、各組織でPDCAサイクルを回すことで、環境へ配慮した活動を着実にレベルアップさせています。

主な責任	コミュニケーション方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境や生物多様性の保全</li> <li>事業活動における環境負荷の低減</li> <li>環境負荷の少ない製品・サービスの開発・提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業における環境配慮</li> <li>環境配慮住宅の供給・普及</li> <li>植林など森林づくりボランティア</li> <li>NPO／NGOとの対話</li> <li>NPO／NGOと連携した環境・社会貢献活動</li> </ul>

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 関連する実績



関連情報はこちら

[> 気候変動の緩和](#)
[> 持続可能な森林経営](#)
[> 生物多様性保全に関する方針と目標](#)
[> 廃棄物削減とリサイクルのマネジメント](#)

## 国際社会・地域社会

住友林業グループは事業の開始・拡大にあたって、例えば、その地域の森林資源を守ることと同じように、共生する地域社会の発展にも貢献することが重要だと認識しています。

そのため、地域における社会貢献活動や、海外事業推進にあたっての地域コミュニティとの対話・協働などを重視した活動を行い、各国各地域での円滑な操業と事業発展の基盤を築くことができるよう努めています。

主な責任	コミュニケーション方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>地球規模または地域の社会課題解決への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員のボランティア参加</li> <li>社会貢献活動を通じたコミュニティ形成支援</li> <li>地域のインフラ整備</li> </ul>

## 関連する実績



関連情報はこちら

[> 社会貢献活動の推進](#)

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
経営事業とESGへの  
取り組み

環境

社会

ガバナンス

その他

経営理念とサステナビリティ経営 - サステナビリティに関わる各種方針・考え方 - 中期経営計画サステナビリティ編と重要課題 -  
SDGsへの貢献と重要課題 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2024 - 住友林業グループ中期経営計画サステナビリティ編2021の実績 -  
ステークホルダーエンゲージメント

## 相談窓口

住友林業グループでは、お客様や住宅建築中の近隣住民の方に向けた相談窓口であるお客様相談室、取引先や社員に向けたコンプライアンス・カウンターやハラスメント相談窓口のほか、その他の苦情などの相談は、ホームページ（日本語、英語、中国語）で受け付けています。ホームページにいただいた相談内容は、受付窓口であるコーポレート・コミュニケーション部から、内容に応じて、本社の専門部署や各対応部署に送られ、適切に対応します。

2019年10月より、海外グループ会社に対して共通の内部通報窓口を設置しました。受付窓口には多言語対応が可能な外部業者を利用しており、英語・中国語・インドネシア語・ベトナム語・タイ語での通報が可能となっています。

海外の植林事業では、利害関係者とのコミュニケーションがとても重要です。例えば、パプアニューギニアのオープン・ベイ・ティンバー社（OBT）において、社内外を含む地域の誰もが投函（とうかん）できる目安箱を設置しています。このように周辺住民等からの相談事などを受け付け、必要に応じて社内でも共有し、対応する仕組みを整備しています。

さらに、インドネシアにおける植林事業地では、2018年より「苦情処理メカニズム（Grievance mechanism）」を運用しています。書面や定期的な訪問により地域住民の意見を受け付け、原則として、7営業日以内に回答をしています。

また、ニュージーランドのタスマン・パイン・フォレスト（TPF）社では、近隣住民や協力業者等のステークホルダーと重要なやりとりがあった場合は、ステークホルダーレジスターに登録しています。過去の経緯を把握した上でコミュニケーションをとることで、円滑な関係性の構築の一助としています。

関連情報はこちら

> [コンプライアンス・カウンター](#)

> [海外植林における人権の尊重](#)